

フルアジナムSC開花期散布のミカンサビダニ防除効果						
[要約] 温州ミカンの開花期にフルアジナムSC2,000倍を散布すると新葉におけるミカンサビダニ密度を約1ヶ月間抑制し、生育初期の果実被害を抑える。						
長崎県果樹試験場・病害虫科	専門	作物虫害	対象	果樹類	分類	指導
平成13年度 長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

近年、ジチオカーバメート系剤抵抗性のミカンサビダニが蔓延しており、防除に苦慮している。年間を通じてサビダニの密度を下げるため、開花期のサビダニ防除が有効であるかを明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 温州ミカンの開花期にフルアジナムSC2,000倍を1回散布すると、新葉のサビダニ密度を約1ヶ月間抑制できる。
2. 開花期のフルアジナム散布により、5～6月のサビダニによる果実被害を防ぐことができる。

[成果の活用面・留意点]

1. 残効は1ヶ月程度なので、それ以降の防除は徹底する。
2. 本剤の散布により、灰色かび病、そうか病も同時防除できる。

[具体的データ]

表1 開花期散布薬剤のミカンサビダニに対する防除効果

供試薬剤	濃度 (倍)	新葉の寄生虫数 (頭/48cm ²)							被害果率 (%)
		5月17日 (散布前)	5月21日 (3日後)	5月25日 (7日後)	6月1日 (14日後)	6月18日 (31日後)	7月9日 (52日後)	7月17日 (60日後)	
フルアジナMSC	2,000	255	31	24	30	17	12	0	0
ケルセン乳剤	1,000	214	62	21	7	72	11	1	0.5
クレスキシメチル ト・ライフロアブル	3,000	197	293	193	181	515	15	2	8.5
イミベンコゾール・ マンゼブ水和剤	600	271	95	59	25	271	6	1	0
無散布	—	174	320	388	258	480	23	15	10.0

注. 薬剤散布2001年5月18日、品種青島温州
試験圃場のサビダニはマンゼブ剤に対して感受性である

[その他]

研究課題名：果樹ウイルス抵抗性健全母樹の育成と特殊病害虫調査
 予算区分：県単
 研究期間：平成13年度（昭和58～）
 研究担当者：中村吉秀、早田栄一郎
 発表論文等：なし